

会 議 議 事 録 (要旨)

1	会議名	令和7年度 第2回 長岡市地域公共交通協議会
2	開催日時	令和8年2月20日(金曜日) 午前10時00分～午前11時40分
3	開催場所	米百俵プレイス ミライエ長岡 西館5階 スタジオA・B
4	出席者名	太刀川会長、佐野副会長、大関委員、中山委員、橋本委員、小川委員、宇佐美委員、石黒委員、横山委員(代理:乙川様)、山本委員、小林委員、嶋委員、大平委員、横澤委員 【欠席】小出委員、大村委員
5	議決事項	(1) 小国地域自家用有償旅客運送の更新登録 (2) 令和8年度事業計画(案) (3) 令和8年度歳入歳出予算(案)
6	協議事項	(1) 山古志地域・太田地区における運行内容の見直し (2) 長岡地域、中之島地域における交通空白地調査業務 (3) 長岡市地域公共交通計画の事業実施状況
7	協議結果の概要	・議決事項(1)～(3)について承認された。
8	審議の内容	
	【議決事項】	(1) 小国地域自家用有償旅客運送の更新登録
	事務局	資料に基づき、議決事項(1)を説明。 (質疑応答なし)
	会長	・議決事項(1)を承認してよいか。 (承認された)
	【議決事項】	(2) 令和8年度事業計画(案)
	事務局	資料に基づき、議決事項(2)を説明。 (以下、質疑応答)
	副会長	・新モビリティ導入検討事業について、どのエリアを念頭に検討しているのか。
	事務局	・来年検討する予定だが、イメージは支所地域から長岡駅まで来て、買い物や通院ができるような行動を想定している。長岡駅から千秋が原地区周辺までを循環する形がよいのではないかと考えており、長岡駅まで来てもらえれば、さまざまな施設に行くこ

	とができるようなものをイメージしている。
副会長	・その場合、ぐるりと路線重複するのではないか。
事務局	・実証実験に関してはさまざまな場所では実施することができないため、先ほどのような市街地を想定している。うまくいった場合は支所地域などにも横展開したいと考えている。
副会長	・恒久的に実施するものではなく、まずはフィージビリティが高い場所では実施することで理解した。
事務局	・先日、東京都調布市や狛江市の自動運転を視察し、レベル2ではあるものの、狭い道路でも問題なく運行されていた。 ・長岡市の場合、雪による影響が課題だと認識している。メーカーによると、雪によってセンサーやカメラが機能しなかったり、雪を障害物として捉えることも確認されている。今後、先進技術で解消されることを期待しながら自動運転に着手したいと考えている。
委員	・バス待ち環境の改善として、バスまちばにアンケートを設置してはどうか。
事務局	・利用者の声として情報収集できるよう、検討したいと思う。
会長	・議決事項（2）を承認してよいか。 (承認された)
【議決事項】	(3) 令和8年度歳入歳出予算（案）
事務局	資料に基づき、議決事項（3）を説明。 (質疑応答なし)
会長	・議決事項（3）を承認してよいか。 (承認された)
【協議事項】	(1) 山古志地域・太田地区における運行内容の見直し

事務局	資料に基づき、協議事項(1)を説明。 (以下、質疑応答)
副会長	・ベトナムから賛助金をもらう予定はあるのか。
事務局	・今のところ予定していないが、利用状況を踏まえながら参考にしたいと思う。
【協議事項】	(2) 長岡地域、中之島地域における交通空白地調査業務
事務局	資料に基づき、協議事項(2)を説明。 (以下、質疑応答)
副会長	・マイカー移動データ調査の結果報告は先ほどの説明であったのか。 ・サンプル数が少なく難しいかもしれないが、交通手段ごとの利用頻度などクロス集計を実施するとよいのではないか。
事務局	・マイカー移動データ調査の結果について、先ほどの説明で示した通りODを確認した。 ・今回は協議会用に抜粋したものであるが、細かい分析については業務受注者に要望しようと考えている。
委員	・昨年12月22日にタクシー運賃を値上げした。初乗りは600円から700円へ値上げするなど9.79%の値上げとなっている。また、迎車料金も100円から200円に値上げした。 ・市街地内で近くの原信に行くことを想定した場合、初乗りと迎車料金で700円だったものが900円へと値上げされ、利用者には大きな負担となっている。 ・タクシー利用者は70代や80代による通院と買い物が多く、時間帯も8時から10時に集中している関係で、待たせている実態がある。 ・これらの状況を踏まえると、今後乗り合いタクシーなどの新たな交通政策を実施しないと高齢者にとってはさらなる負担となる。また、外出機会の減少により介護にかかる人が増えるといった悪循環になることも想定される。 ・アンケート調査結果にもあったが、今の高齢者は元気な方が多いため、5年後に免許を返納するというのは、さらに5年を加えた10年後とずれが生じることが想定される。ただし、70代は個人

差もあるため、地域での助け合い制度も今後必要ではないかと思う。

- ・三島地域では地域の困りごととして除雪に関する意見が最も多く、除雪代行のサービスを実施している事業者もいる。次いで買い物の困りごとが多く、今後高齢者にとって買い物代行は重要なサービスとなる可能性が考えられる。
- ・タクシーを呼んでも来ない件について、長岡市内には274台のタクシーがあり、金曜日及び土曜日以外はそこまで発生していないと考えられる。ただし、三島地域や与板地域など一部地域では対応できていない現状があると考えられる。
- ・新モビリティ導入検討事業について、以前実施したグリーンスローモビリティのステップを踏まえながら自動運転の実証実験を積み重ねていく必要があると考えている。グリーンスローモビリティの検証はすべて終わり、次の展開があるのか。

事務局

- ・グリーンスローモビリティについて、平均20km/h以下で走行する中で周辺交通への影響検証や摂田屋などの観光地への導入などをイメージしながら実証実験したものであった。改善点はあるものの、将来的には観光地へ導入することがよいのではないかとということで実証実験は終わった。次のステップは未定である。
- ・自動運転では、渋滞の懸念もあることから35km/hほどで走行でき、20人ほどが乗車できる車両で展開したいと考えている。
- ・長岡市民は年齢を重ねても自家用車を運転する風潮があることが明らかとなっている。家族や近所の人から助けをもらう人もいるが、1人暮らしで本当に困っている人も一定数いることから、宮本で行っているような相乗りタクシーや地域の支え合いにシフトしなければならないと思っている。
- ・市民はまだまだ元気と感じているため、今回の実証実験を通して市民から将来1人暮らしになった場合を想定してもらい、ぜひ移動手段を考えてもらうきっかけにしたいと考えている。助け合いの機運を醸成したいが、そこが難しいことも理解しているため、仕組みをどう構築して気持ちを盛り上げていくか研究していきたいと思う。

委員

- ・これからは支え合い、助け合うことが重要になると考えられる。町内会を中心とした組織などがあればよいが、組織がないとその町内は可哀そうな状況になる。
- ・自身は運転免許を保有しており、週3回程度原信などに買い物に行くが、タクシーを利用して買い物に行く人が最近増えてきたと

事務局	<p>感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内で車を持たない人の買い物時の移動手段としては、注文（インターネット販売）が挙げられ、町内での手助けはしていない。今後、町内で支え合う機運を高めることができればよいのではないかと感じている。 ・地域の支え合いは、特定の人に負荷がかかってしまうと大変なことになる。例えば困っている人が5人や10人いた場合、30人で支えるなど大勢で支えることでうまくいくのではないかと考えられる。 ・ネットスーパーもあるが、人と話す機会が減少するため、外出し人と話すことで気持ちも元気になるのではないかと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果では、70代まで8割程度が運転免許を持っており、80歳を超えると5割程度まで急激に減少するが、実感としてはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りだと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局からもあったが、これからは公共交通だけでなく地域の支え合いを中心とした地域生活交通など、他分野も巻き込みながら空白地を解消しなければならないと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手が確保できない、送迎する人がいないなど、移動手段がない人が今後増えると想定されるが、一般の人は最悪の状況を想定していないのではと感じている。バスやタクシーは利用してもらわないと廃線・廃業になってしまうため、市政だよりも最悪を想定した将来について記載するなど、知ってもらうことも重要ではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー事業者の廃業は、運転手不足やゼロゼロ融資のしわ寄せが来ていることが要因として挙げられる。 ・先ほど運賃の値上げについて話したが、メーターを変えるだけで1台あたり2万円から3万円かかるが、補助金はない。また、免許返納者や身体障がい者の割引に関しても補助金はない。タクシーは公共交通という人もいるが、その点では難しい気持ちでいる。 ・自社では介護タクシーも行っており、長岡市や見附市から補助金をもらって福祉デマンドを運行している。こういったバックアッ

	<p>プがないとボランティアだけでは限界が来ると思われる。どうやって人を作り、どうやって金銭的なバックアップをするのか行政が中心となって考えていく必要があると感じた。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少によってバスはさらに減便となることが想定され、今後はタクシーが支えることも考えられる。 ・これまでのタクシーは個人を送迎するものだったと思うが、最近は公共交通に含めたり含めなかったりなど曖昧な位置づけと思われる。 ・デマンド交通を運行することでタクシー事業者にも補助金が出る仕組みになってきていることから、将来的にこのような制度も組み合わせながら進められればと思う。 ・本協議会は公共交通と言いながらも、支え合いや福祉といった移動についての話もあり、それらは公共交通ではないと思う。バスがなくなった部分を代替手段で補うという意味で公共交通として対応している部分がある。これまでの考え方と変わってきている部分もあるため、国の補助金も活用し、知恵を出しながら進めていきたいと考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・危機的状況の周知についてはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・どこまで周知するかは検討する必要があるが、市政だよりや民生委員などを通して周知を図りたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市政だよりに載せる場合、市民による討論形式の内容はどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度から地域公共交通計画を作る中で、最悪のシナリオも考えながら方向性を示していくとともに、ホームページなどで公表しながら、より多くの人に知ってもらいたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの空白時間は利用者の減少も影響し発生していると考えられる。今後はジャンボタクシーや自家用有償旅客運送などさまざまな活用が考えられる。 ・先ほどの報告によると、利用者が増加している地域もあり、これは地道な周知活動による効果とも考えられるため、引き続き利用してもらおうための取組をお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通り、路線バスでは減便により利用しなくなると考えられる。また、高齢者が買い物で荷物を持って乗れないなどの不便も影響していると思われる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・減便が進んだ場合、今後はドアツードアによる運行なども必要になってくると思われる。実際に寺泊・和島地域では利用者も増えているが、栃尾地域のような沢ではドアツードアでなくても利用者が増えるパターンもある。そのため、地域の状況や地形などによってニーズも異なることが想定されるため、意見を聞きながら研究していきたい。
【協議事項】	(3) 長岡市地域公共交通計画の事業実施状況
事務局	資料に基づき、協議事項 (3) を説明。 (質疑応答なし)
【その他】	路線バスクレジットカードタッチ決済運用開始
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき、その他の内容について説明。 (以下、補足説明、全体意見)
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃よりバス事業へご理解いただき感謝申し上げます。 ・今冬の大雪により、遅れや運休で利用者にご迷惑をおかけしお詫び申し上げます。 ・バス事業に対して、国・県・長岡市などから支援いただき感謝申し上げます。 ・タッチ決済は令和8年3月14日より運用を開始する予定である。 ・2月22日にアオーレ長岡前のバス停に実車を配置し、タッチ決済の体験会を予定している。また、のぼりや車両前面にフロント幕を設置して広報する予定である。 ・利便性向上として、小銭を用意する手間が省けたり、遅延の解消につながることを期待されている。乗車時と降車時にそれぞれ1回ずつタッチすることで自動決済される仕組みである。簡単にバスを利用できるようになるため、ぜひご利用いただきたい。 ・今後はさまざまなサービス展開を考えている。例えば、現在の休日乗り放題パスをスクラッチ式ではなく、クレジットカードを使うことで上限を設定し、自動的に乗り放題にするサービス展開が可能である。また、休日の夜に利用すると割引するサービス展開も可能である。さらに、バスの乗り継ぎ割引なども可能である。以前、栃尾地域の山間部からタクシーで栃尾車庫まで来て、その後バスに乗り継いで長岡まで行く際に乗り継ぎ割引はないのかという話があり、当時は難しかったが、今後は乗り継ぎ割引といったサービス展開も可能となる。このようにさまざまなサービス

<p>副会長</p>	<p>展開が可能となることから、今後はこれまでになかったサービスを展開し、利便性向上を図りたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は週1日くらい外出されていると思っていたが、アンケート結果から思ったほど外出していないと感じ、自力で移動できない方も多いと考えられる。また、年齢を重ねると長い距離を歩くことも難しくなることから、今後はドアツードアや柏崎市で導入しているAIデマンドのように密にバス停を設置することがよいと考えられる。冬の場合、家の前まで行ったが帰って来れないなどの難しい問題も想定されることから、季節によって運行手法を変えることも可能であると思う。夏場だけでも対応してもらうことで利便性が高まり、より外出できるのではないだろうか。
<p>【その他】</p>	<p>今後のスケジュールについて</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の協議会は令和8年6月頃を予定している。 ・必要に応じて書面協議を開催する必要があるため、ご協力いただきたい。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

■ 協議会の様子

